

UNIQUES

NU BY RENOVATION LIFE STYLE FREE PAPER

new-used



head line

あの企画の仕掛人。

issue
09
APRIL
2018

「東京」で暮らす。

made in Tokyo



あの企画の仕掛人。

衣食住に纏わる、わざわざ行ってみたくなるようなコンセプトのイベント。

その企画を仕掛けている人ってどんな人なの？彼らの思いについて聞いてみました。

自分で着るには

体の数が足りなかったから

日本から約9000キロ離れたウクライナ。ヨーロッパ経由の便で早くて16時間はかかる場所にある。通貨はフリヴニャ、芸術の国と言われオペラなどが栄える。そんな国の古着ばかりを集めている人、それが武田カオリさんである。高校生の頃から、ブランド物よりリバーイスで、他の人と同じものは好きではなかった。ピカピカなものよりも汚れていても大切に着られてきた古着に魅力を感じ、当時から仙台の古着屋さん巡りをしていったんだとか。19歳で故郷である宮城を離れ、ミュージシャンとして活動するために上京。東京でももちろん古着を求めて歩き回ったと言う。そして20歳で出会ったのがウクライナの刺繍ドレスである。「当時は上京したてで買うお金が無かったのですが、とにかく可愛い！と感動したんです。それで、自分で働いたお金で生活できるようになってから少しずつ集め始めました。」と武田さん。欲しいと思うものを集めるうちに、いつのまにかお店を開くほどの数が集まってしまった。「今、大きなダンボールに7〜8箱はストックがあります。6畳間が半分埋まっていて、しょうがないから積み重ねて置いているんです(笑)」そんなダンボール箱の中のほとんどは、心から手放したくないと思う思い入れのある洋服ばかり。だけど武田さんはその大切な1つ1つを自分以外の人も手に取ってもらおうと決意した。2017年5月。自身初の移動式ヴィンテージショップを富ヶ谷にて3日間限定でオープン。ミュージシャン以外の仕事をしたことのなかった一人の女性が、仕入れから販売までをこなした。

「私がミュージシャンだということを全然知らないで来てくれる人が多くて。おぉー面白いと。40歳にしてこんなに新鮮なことを味わえるとは思ってませんでした。」なんと初日は数時間で商品が完売。「夫からも、これがそんなに売れるの!？」とビックリされました(笑)」と楽しく笑う。

その後、仙台、京都、鳥取、広島、鹿児島と、全国をウクライナの刺繍ドレスと共に旅してきた。

Kaori Takeda

武田 カオリ

1999年ギタリスト、石井マサユキとのユニットTICAを結成。ソロ名義での活動は、2012年にソロアルバムをリリース。その他、ゆらゆら帝国、HAKASE-SUN、中島ノブユキ、阿部海太郎、川上つよしと彼のムードメーカーズ等の作品に参加。
2017年より移動式ヴィンテージ・ショップ(Kishka Vintage)主催。

Kishka Vintage

お店を持たない旅する移動式ヴィンテージショップ。
ウクライナ語で「刺繍」という意味。

目に見える古着と

目に見えない音楽の交わり

オープン前から少しずつ、出品する洋服をInstagramに載せていく。白だけど、少しグレーがかった色味のドレスたちは写真の中でもなんとなく独特な雰囲気を感じた。武田さんの仕入れるウクライナドレスは、本国では日本の着物のような扱いをされている。おしゃれなアイテムというわけではなく、伝統衣装でお祝い事などで着るものなんだとか。ディリーユースのものではないからこそ、100年程前のものでもこれだけ綺麗に残っているのだそう。「刺繍にもちゃんと意味があつて。赤い刺繍は、愛情。青や緑は健康を願うもの。裾には必ず刺繍があつて、風通しの良いところから悪い気が入らないように魔除けの役割をしているんです。」そういう伝統的なところもちゃんと理解した上で、染めや丈詰めなども自ら行っている。日本人女性の身長に合うようにしたり、横幅のある服は短く詰めることもあるそう。「1つのことをずっと続けることが正しいことなのだと思うて今まで生きてきたんです。自分の本業はミュージシャンだから、それ以外の仕事をやるなんてダメなんだと。でも勇気を出してやってみたらものすごく楽しかった！そうじゃなければいけないという、単なる思い込みの中にいたんだなあと思いついて。色んなことをやってみないと、色んなことに気がつくって出来ないんですね。」と、充実の表情でゆるりと語る。

ショップ開催の最終日。武田さんは、必ずその場所でライブをやるようにしている。仙台では、たまたまお店に来てくれたギターコード3つしか弾けないという人に声をかけて中学生のドラマーと3人でセッションをした。「その場でしか完成しない、一期一会の即興セッションなんです。プロでは絶対にやらないことが生まれるので、ハラハラするけど面白くて。」そのお店に、今まで来たことのないお客さんを呼べたらしいなという気持ちもある。音楽と、古着。全く別物のふたつから学ぶことは計り知れない。どちらの力も借りながら、武田さんはまた、旅を続ける。



想いがあれば叶う。
願いは口に出して言うこと。

オーガニックと聞いて、どんなことを思い浮かべるだろう。体に良さそう、エコな感じ、無農薬、などなど。最近では、「なんだかオシャレ」だと思ふ人もいるのでは。今でこそ当たり前のように日常に溶け込んだその言葉を、戸田さんは3・11の境に強く意識するようになった。その当時、連日のように報道される原発問題で、食への安全性に注意を向けるようになった人は少なくない。スーパーで買う野菜の産地はもろんのこと、添加物や生産者にまで目を向けるようになったきっかけになったように思う。元々食への意識が高かった戸田さんは「日本はこのままではいけない。食から地球を守りたい」と立ち上がった。「私に何が出来たらうと考えました。家で食の安全を守っているのは大抵が女性。だから女性向けのオーガニックマルシェを開催しようと思ったんです。」当時、2011年。まだオーガニックと聞くとヒッピーのはりりのような印象を持つ人が多かった時代どこか禁欲的で自分向きではないと考えられていたそのイメージを払拭すべく、女性向けに「オシャレでスタイリッシュなマルシェ」をテーマに企画をスタートした。女性たちが「自分向き」であると思ってくれなければ、マルシェの成功はおろか、食への問題意識の提示もできない。「自分の役割は、オシャレな女性と意思のある農家さんを繋ぐことだと考えました。ハイエンドな方たちがお金を出して丁寧に育てられた野菜を買うことでマーケットが潤うと思ったんです。」そう言う戸田さんが、マルシェの最初の開催地として選んだのは、葉山。「都会の女性がアクセスしやすく、憧れを持つ田舎の街が良いと思いました。」生きていく上で必要不可欠なマルシェというテーマを掲げ、野菜やワインの販売、オイルやオーガニックコットンの店を並べた。「女性って野菜だけを見たいのではなくて、色々なものを見比べたいんだと思うんです。だからこれと、限定せずにおーガニックというキーワードで衣食住に纏わるお店なら特に制限は設けていません。」ターゲットが明確で伝えたい想いがブレていないから、来る人も充実の思いでオーガニックを日常に持ち帰る。

Maki Toda

戸田 麻紀
Vivre de BIO Marché プロデューサー。
東京ミッドタウンにてマルシェも定期開催。今後は全国展開を目指す。

Vivre de BIO Marché in TOKYO MIDTOWN
Vivre de BIO Marché in 東京ミッドタウン毎月最終週の土日に開催するオーガニックマルシェ。
場所：東京ミッドタウン
ガレリアゲート前
時間：10:00-16:00
主催：東京ミッドタウン

このマルシェにあれば
美食住が揃う

マルシェの回を重ねる毎に、戸田さんの脳裏にはこのマルシェをサカスカのように全国各地で開催できたという想いが巡っていた。その思いを口に出して言うようにしていたら、各方面から声が掛かるようになったと戸田さんは言う。「次は港区で開催したいと思っていました。そうしたらミッドタウンでの定期開催が決まって、「引き寄せる力にも圧倒されるが、それは戸田さんの想いの強さが成せる技なのかもしれない。」「オーガニックを追求し、身体の内からも外からも綺麗になること。地球と人に優しい食生活を送ること。自然と共存した丁寧な暮らしをすること。それは衣食住改め、美食住なんです。」と戸田さんは語る。そのコンセプトに共感する女性は多いはず。とはいえ明日からオーガニックライフを実践したいと思っても、何から始めて良いのかわからないというのが世の現実である。そんな人に向けて「調味料から変えることだと思います。調味料に手をかけると自然と食べるものが変わってきますよ。」と戸田さん。彼女自身、混ぜるだけで料理が完成するパッケージ食品や添加物の入った調味料は今まで使ったことがないと言う。「食事の時間はとても大切にしています。子どもが1人だけで食べるのがないように、家にいる時はできるだけ家族揃って、我が家の子どもたちはみんな、手作りのご飯が大好きです。」それが、戸田さんの言う真の豊かさ。当たり前だと思ってしまう生活をしていると、気がつかないことというのは意外に多い。毎日使う調味料って何から出来ているの？この野菜は、どんな人が作っているの？そんな小さな気づきを大きなアクションへと変えられる力が、食環境を変えるには必要だと、戸田さんを見てハッキリと感じた。「ただ、これは食べちゃダメという風にはしたくないんです。最終的に身体が一番美味しいと思うものを知っているということが理想ですね。」マルシェに遊びに行く、オーガニックコットンのエプロンにハットを被った戸田さんに会うことができる。出展者に声を掛けながらシャキシャキと動き回る彼女は、理想の母として子どもたちに眩しく映っているだろう。



新たな古着ブームが 巻き起こる渦の中で

SNSでお洒落な人を探してフォローし、その人が着ている服をネットで探して買う。そんなことが親指一本で出来るようになった時代に、わざわざ足を運んで洋服を買うという「場所」をつくった人たちがいる。青山ファーマーズマーケットの中庭スペースで、毎月第1週目の土日に開催しているイベント。「RAW TOKYO（ロウトウキョウ）」古着を中心に、雑貨、アクセサリ、移動本屋、グリーン、飲食店までが約70店並ぶ。中央にDJブースも構えており、音楽を背景に洋服選びをしてカレーを食べて…。そこには音楽フェスならぬ洋服フェスというような楽しいムードが充滿している。広告は一切出さずに、宣伝はInstagramのみ。投稿を見て集まってきた人が人を呼び、毎月たくさんの若者で賑わう。イベントの発起人でディレクターの一人である川辺さんは、代官山にて「Aquvii（アクビ）」というギフトショップを運営する。

「ファーマーズマーケットは集客に成功しているし、中庭スペースでは定期的に他のイベントもやっている。そこで古着がキーワードのマーケット開催をしたらさらに人々を呼べるのではないか」と考えた。「今、大手のアパレルでも古着を扱う時代になってきていますよね。古着の第一次ブームで育ってきた人たちが古着屋をオープンして、そこに外国人や若い人、今まで古着を着たことのない人たちが集まっている感じがします。今までの古着ブームとはちょっと違って、お客さんたちは新品と同じ感覚で服を選んでるように思えます。新品に飽きていて、人と違うものを探しているというか」「そう言う山上さんも30歳で原宿に「KINSELLA」と言う古着屋をオープンしている。分析通り、RAW TOKYOを訪れる人たちは古着を買いに来ているのではなく、服を買いに来ているという印象を受ける。新品と違うのは、そのルーツ。どの国で、どんな人が着ていたのか。何年代のもので、状態はどんなのか。そんなことを聞きながら、自分らしい1着を選べる「場所」がここ、RAW TOKYOなのだ。

RAW TOKYO

川辺 恭造(左上)
代官山のギフトショップ
Aquviiのオーナー。

山上 達生(右上)
原宿の古着屋「KINSELLA」を
2008年にオープン。

星野 泰平(左下)
祐天寺の古着屋 Arms Clothing
Storeスタッフであり、COMMUNE
2nd RAW TOKYOの運営に携わる。

高木 康介(右下)
鹿児島で原宿 8000 頭と共に暮らす、
Media Surf Communications

RAW TOKYO
青山 Farmer's Market 内にて
毎月1週目の土日に開催。
場所：青山・国際連合大学前広場
時間：11:00-17:00

人と人との繋がりが生む 生のリアルな東京

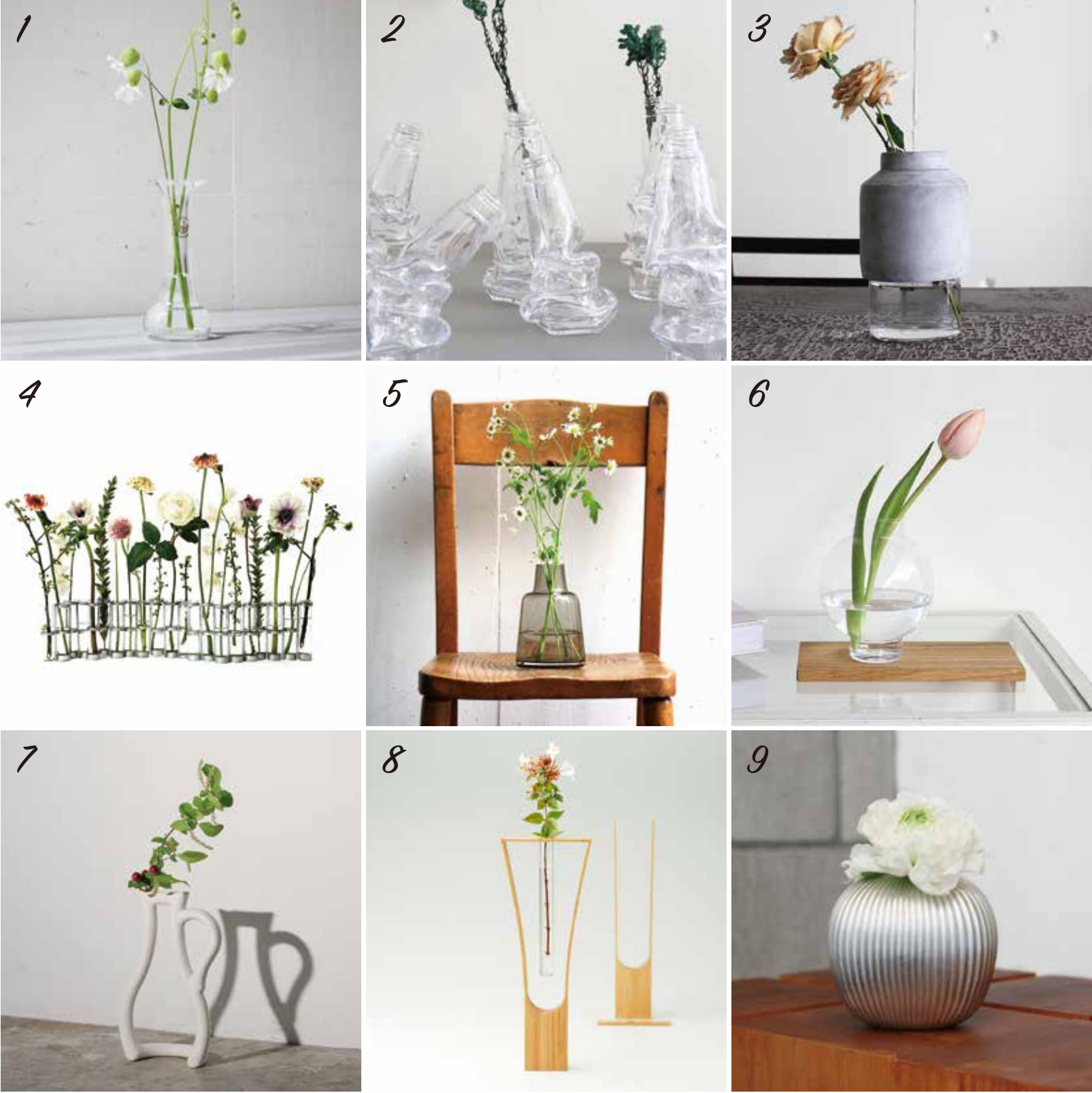
「大人になってからなかなか集まることが難しくなってきた仲の良い友達と、また月1ペースで集まったら楽しいな」と思ってた始めたんです。川辺さんが、それで最初に声を掛けたのが高校の同級生の山上さん。「彼（川辺さん）は、行動力があるんですよ。まずやっちゃう、みたいな。」「そうですね、まずやっから、どうするか決めています（笑）。」「そんな風に始まったから、最初は知り合いだけを集めて45ブースでスタート。今ではあんなに大規模なイベントが、そんな動機で始まったとは驚きであるが、一度足を運ぶとその動機が間違っていないのだと感じられる。出展ブースが全てオープンで、必ず店員と客の間でコミュニケーションが生まれる構成。別ブースの店員同士も、そこでは気兼ねなく語り合い回を重ねる度に友達が増えていく感覚がある。それは表面的な集合体ではなく、人と人で繋がりがあつた温度を感じられるようなイベントだからこそ。」「要は、生っぽい感じを出したかったんです。」「そう言う川辺さんに対し、「生っぽいじゃわからないですよ（笑）。」「つくられた感じではなく、今のリアルな東京を反映したいということです。」「と笑いかける星野さん。彼はファーマーズマーケット側との架け橋としてディレクションに携わる。RAW TOKYOの「RAW」は、直訳すると「生」。彼らの考える「生っぽいさ」は、話まるところ、人と人との繋がりのことを指しているのかもしれない。さらに楽しめる理由の一つとして、毎回のイベントの企画にもある。2月は「デザインズ×デザインズ」、3月はプリンツ＆プランツ、4月は「マニッシュ&ポリッシュ」など季節やその時の流行に合わせて決定。そこから新規の出展者に声をかけていくそう。毎回必ず出展する店と、新しい店が丁度良い割合でそこで迎えてくれる。だから行くたびに新しい発見もあるし、安心できる居心地良さもあるというわけだ。親指1本では決断することの出来ない、人の繋がりによってそこに存在する1着選び。これからも無くなることのない古着という世界に触れてみるきっかけを、彼らは楽しみながら作り出している。

WISH LIST
Volume.09
DESIGN vase

リノベをするならここまで注目！

憧れのリノベーションでつくり込んだ私の部屋。空間は理想通りなのになんだか物足りない。それじゃあ、季節の花を飾って、空間に彩を与えてみるのはどうだろう？ 春といえ
ば、花を飾るのが楽しい季節。せっかくなら飾る花瓶にまでこだわって、「花のある生活」
をはじめてみませんか！？

What you want?



1:首が長く、スラットしたフォルムが特徴的。さっと飾っただけでも絵になるよう計算されたディ
テールを持つソリティアベースでなら、季節の花を気軽に楽しめる。(HOLMEGAARD[ソリティ
アベース]H:12cm / ¥3,780(税込) イルムス日本橋) 2:ボトルを地面に落とすことで形成さ
れた形はまさに唯一無二。キレイすぎず、でもラフすぎないその外見は無骨な空間にもマッチし
そう。([gravity]H: 約 17cm / ¥4,860(税込)HOEK) 3:デンマークで古くから愛されて
いるMENUがおくる、コンクリートとガラスのコラボレーション。飾る花次第でどんな空間にも
マッチし、様々な顔をみせてくれる。(MENU[Willmann Vase]H:20cm / ¥19,440(税込)
FULLangle) 4:21本の試験管が連なる独創的なデザインは、シンプルな空間に置いてとこと
ん目立たせたり、お気に入りの小物と一緒にディスプレイしても見劣りすることのない存在感。
(Tse&Tse associees[四月の花器(S)]H:10cm / ¥27,000(税込)H.P.DECO) 5:花好
きな誰かが知るフロアの花瓶。余分なものを削ぎ落としたシンプルさが生けた花を最大限に
引き立て、スモークの色味がどんな空間にもそっと馴染む。(HOLMEGAARD[Flora(short

/smoke])H:12cm / ¥3,240(税込)スコープ) 6:空間のテイストを問わず、身を置かれた
場所にそっと溶け込むようなクリアガラスのベースは、老舗ガラスメーカーの一品。吹きガラスに
よる丸みを帯びた柔らかなフォルムに心惹かれる。(SKRUF[TOKYO ベース(S)]H:13cm
/ ¥4,104(税込)CDC general store) 7:「まだ、未熟」という意味が込められた「still
green」。美しいバランスで佇むその姿は、影にさえ惚れ惚れしてしまう。磁器の質感はモダンな
空間にも似合いそう。(セラミック・ジャパン[still green(L) Water]H:16cm / ¥5,940
(税込)セラミック・ジャパン) 8:どこか繊細で控えめな雰囲気ながらも、竹が腫し出す空気が
感を感じさせる。遠くから見ると、まるで宙に浮いているかのように見えるのも頼もしい。
(TEORI[HOLLOW]H:25cm / ¥3,888(税込)TEORI) 9:コロンとしたフォルムが愛ら
しい林檎をモチーフにした花器。抗菌性に優れた錫(100%)で製作されているため、水が腐りに
くく切り花が長持ちするという特性がある。(能作[フラワーベース suzu りんご]H:8.2cm /
¥10,800(税込)能作)

箱の本質

土間×オリジナルキッチン
HP/ORDER REPORT #95



Order Report

リノベーション完成後のお客様の声をレポートしました

住み慣れた街で、再び

神奈川県川崎市に暮らすS家族は、
靴職人のご主人と専業主婦の奥様、
お子様の3人暮らし。ご夫妻は、「子供
が小学校に上がる前までに家を買って、
いつても帰ってこられるような地元
をつくってあげたい」という想いから、
本格的に家の購入を考え始めました。
アンティーク家具が好きなお2人は、
新築のどかビカとした内装より、味わい
のある素材に囲まれた家に住みたいと
考え、自由に空間をカスタムできるリノ
ベーションを選択。まず物件を探した
めに不動産屋を訪れますが、せっかくな
らリノベを前提とした物件探しから
サポートして欲しいと考え、物件探し
からワンストップで依頼できるnuに
決めたのだと言います。最終的にS夫妻
が購入したのは、築44年、約68㎡の物件。
当時の家から徒歩5分圏内で、すでに
馴染みのある場所だったからこそ、安
心して購入を決意できたのだそう。

シンプルに彩りを添えて

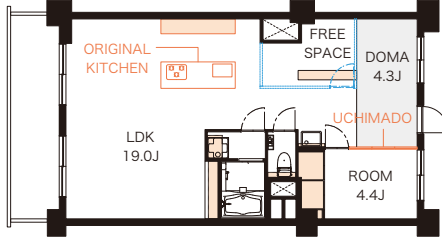
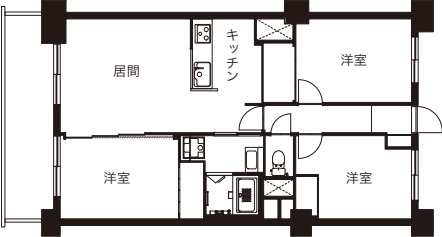
「模様替えが好きなため、自由にレイ
アウトできるような極力シンプルな空間
にしたい」という奥様からの要望。シン
プルというテーマを念頭に置きつつも、
「家の中に靴修理ができるスペースが欲
しい」「将来的に子供部屋を確保でき
るようにしたい」「オープンなキッチンに
したい」など取り入れたいポイントが
明確にあったS夫妻。そんなお2人にデ
ザイナーが提案したのは『箱の本質』と
いうコンセプト。余計なものを取り払っ
たシンプルな空間に家具やグリーンで
彩りを与えていく、そんな「暮らしを楽
しむ」という家の本質をカタチにしたお
部屋をイメージしました。出来上がった
プランは、廊下の存在しない1LDKの

シンプルなお箱。玄関を開けてまず目に飛
び込んでくるのは、約4Jの土間。ご主
人が靴の修理をする時に使うミシン等
が置かれ、家の中でも作業ができる十分
なスペースを確保しました。梁の高さに
合わせて造られた本棚は、将来的に間仕
切りとして活用し、子供部屋が確保でき
るよう設置しました。そして土間から続
くオープンなLDKは約20Jという開
放的な広さで、中心にはまるで箱が宙に
浮いているかのように見える浮遊型の
キッチンを設置。このデザインは奥様が
ネットで見つけた時に見つけたもの
をベースに造作し、スチールパイプの
脚の上にシナ材で作った下台とステン
レスの天板をのせ、床から少し浮かせる
ことで軽やかな印象を感じさせます。
「以前の家は壁付けキッチンだったので、
料理中に子供の様子を見ることができ
ず不便に感じていました。だから絶対に
リビングに対してオープンな配置にし
たかったんです」と奥様。一方、LDK
にスペースを割いたぶん、寝室は最小限
に納めています。限られた空間に開放
感を与えるためのデザイナーがご夫妻に
提案したのは、腰壁から上、全てにデザ
インされた内窓とガラスの扉でした。
「寝室が完全に個室化されてないおかげ
で、部屋に1人きりで遊ぶことを怖がら
なくなりました。前の家では1人で部屋
に入ることに怖がっていたのにね!」
とお子様に笑いかけられるご主人。内窓と扉
にはわざと錆を発生させ、塗装では決し
て表現できない絶妙な赤茶色が、ヴィン
テージ感を醸し出しています。

S邸を見渡すと思わず目にとまってい
しょう、センス良く飾られたインテリア。
唐辛子やローリエで作った奥様お手製
のドライフラワーや、キッチンバックカ
ウンターには食器たちがセンス良く並
べられています。「暮らしを楽しむ」とい
う家の本質をカタチにしたS家族のお
家が完成しました。



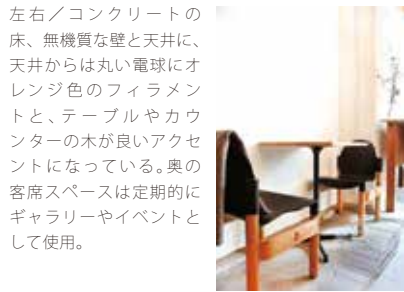
設計担当
鷲山 泰喜
Taiki Washiyama
物件概要
所在地 神奈川県川崎市
間取り 1LDK
築年月 1972年9月(築44年)
専有面積 68.67㎡(壁芯)
家族構成 FAMILY
工事金額 1,200万〜



約4Jの土間はお子様の遊び場としても大活躍



グリーンの大きな扉と「T」の看板が目印。



左／コンクリートの床、無機質な壁と天井に、天井からは丸い電球にオレンジ色のフィラメントと、テーブルやカウンターの木が良いアクセントになっている。奥の客席スペースは定期的にギャラリーやイベントとして使用。



革張りチェアがラフな空間にマッチ。



左／自家製なつかしプリン(500円)、濃いめに淹れたミルクティー。右／ヨーロッパを中心に集めたティーコレクション。下／ジャス羊羹は、classic(ドライいちじく×黒糖:400円)



国 台東区鳥越 2-5-1 恵比須ビル 1F
火～土曜日 11:30～18:00(17:30 L.O.)
日・月曜日(臨時休業あり) ☎ 050-3701-5566

T(ティ)／meme meal

美味しいコーヒーを飲む、落ち着いた空間でぼーと過ごす、ヘルシー料理を食べる…カフェでのちょっとしたことが毎日を豊かにしてくれる。自称カフェマニアの私がおすすめのカフェをご紹介します。

ものづくりの街として人気の高い蔵前駅から徒歩7分。鳥越神社のすぐ横に店主・塚本太朗さんが世界各国からセレクトした紅茶を扱う「T」と、フッドユニット「meme meal」がコラボした「ごほんとおやつと紅茶」のお店があります。築45年の4階建てビル(恵比須ビル)をリノベーションし、1階は紅茶のカフェ「T」、2階からはシェアオフィスとして使用。コンクリート現しの壁と床が、クラフトマンの街に馴染むニュートラルな空間を演出しています。

店名である「T」は、オーナー(塚本さん)のイニシャル、鳥越神社、紅茶(Tea)、それぞれの意味が込められているそう。

棚に並び、目移りするほど豊富な紅茶は、個性的なハーフティーからベシックなものまで約50種ほど。料理は、お料理上手のおばあちゃんから受け継ぐレシピを基にmeme mealさんご夫婦が作っています。(meme meal 仏語でおばあちゃんの意味)の通り、お料理はどこか懐かしくほっとする味です。

紅茶と家庭料理とおやつを楽しめるコージーな店です。

Director
ルーミー (Rumi Ueda)

「とうきょう cafe 都」部長
学生時代に、建築の勉強をしていたこともあり空間には少しうるさい。平日、休日問わずカフェ巡りを楽しまる。

〇〇のある風景 | vol.9

日常の風景の中に、あったら嬉しいもの。それがあるだけで見慣れた部屋が映画のワンシーンのように素敵になるものを気まぐれに紹介していきます。



組木作家の黒小黒さんが作る季節人形。黒小黒さんの考える雛人形のあるべき姿とは、主役の子どもたちが手にとって遊べること。盲学校に勤務していた黒小黒さんは、子どもたちは触ることで勉強するのでと気付いたそう。一枚の木から生み出された人形は、シンプルだけど表情豊かでずっと眺めていられる心地よさがあります。

ひな祭りの思い出、皆さんはありますか。家や街に飾られたお雛様を見たり、ひなあられを食べたりしましたよね。ひなあられって何の気なしにボーッと食べていたが、調べてみたところ、ちゃんと色にも意味があるそう。白緑赤の3色の場合は、白は雪の大地、緑は木々の芽吹き、赤は血や生命。それらを食することで、自然のエネルギーをいただき、1年間を健康に過ごすことができるという意味合いが込められているのだとか。4色の場合は四季を表しているって、それも1年間の幸せへの祈りだそう。へえ！知らなかった。日本の行事って奥深いですね。先日友人と「娘の雛人形何買った？」という話題で盛り上ったのですが、その中の1人が「お雛様って、ちゃんと触ってあげたり、人形自体で遊ぶというところが良いことなんだってよ。」と言うではありませんか。え、お雛様って飾るものじゃないの?!と驚愕。お雛様って、娘の分身で、その子の将来の姿を表しているのだから、大切に扱ってあげることが厄



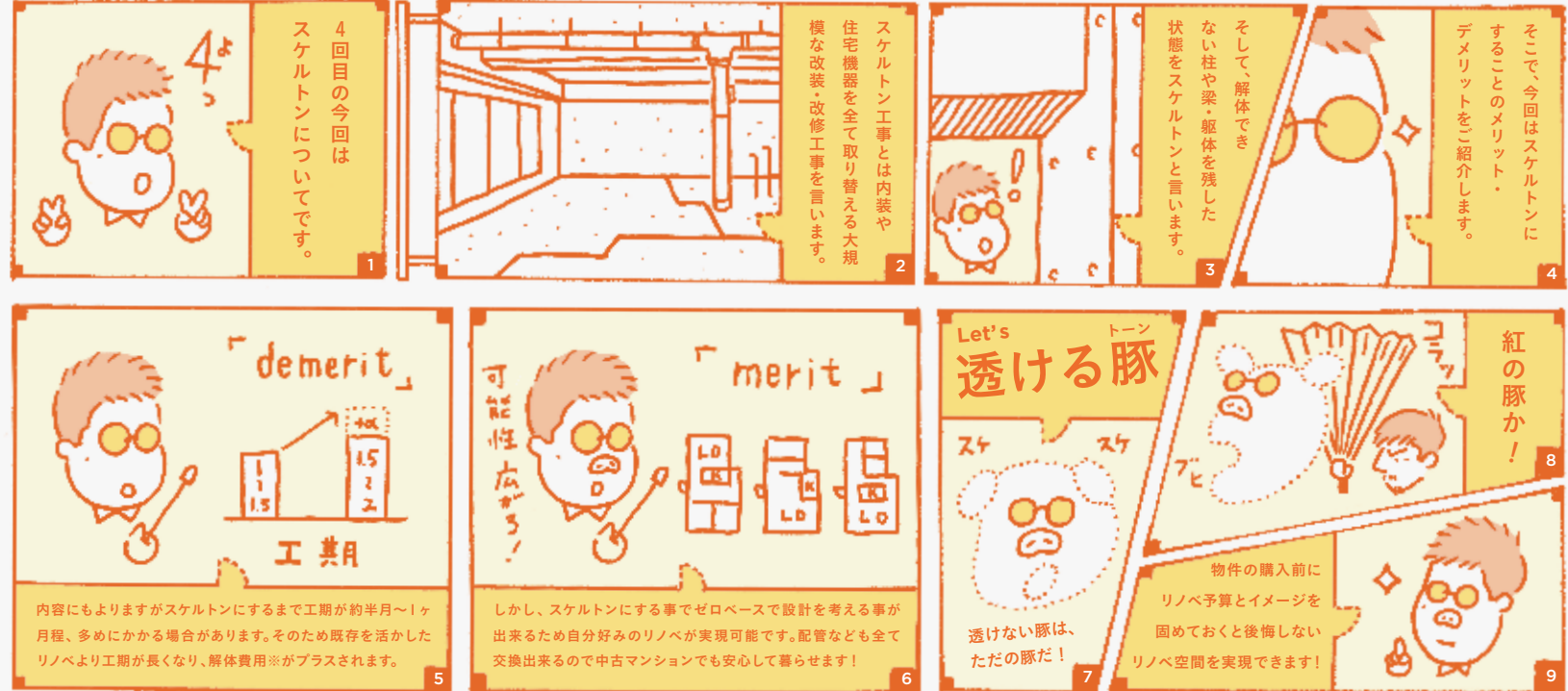
飼う猫の「まゆ太郎」。
冬はソファの端っこを陣取り、ほとんど寝ているまーたん。いつも自分のしっぽを抑えるように踏んでいることが多い。そしてなんかセクシー。

やました あい
nu PRESS

リノベーション入門

グラフィックデザイナーが学ぶ！
リノベーションのあれ？これ！
グラフィックデザイナー14年目。リノベーション業界に転職して3年目の私が独自のたえでリノベーションを解説・説明していく記事になります。真剣に読まず、気楽に楽しんでいただけると幸いです。

第4回 理想の空間を手に入れるための破壊！



Sunny 『木キッチン × スクリーン』

無垢オークの床が広がるLDKに降り注ぐあたたかな日差し。窓から入る風を感じながら部屋中に置いたグリーンのお手入れをするのが毎朝の日課に。キッチンの壁にはラフな印象のヴィンテージオークを貼り、ペイマツのバックカウンターも造作しました。



所在地 埼玉県戸田市
間取り 1LDK+WIC
築年月 1995年2月(築22年)
専有面積 62.93㎡
家族構成 FAMILY
工事費 1,000万円～1,200万円
竣工年月 2017年1月



「背伸びしたクッキーと変わらない時間」

今日は最近一人暮らしを始めた友達の家へ遊びに行く。
彼女は大学時代からの気の許せる友人であることは間違いないけど、やっぱり人の家へ遊びに行くというのだから、そこは気合を入れさせて欲しい。
きつと久しぶりに会うからお酒なんかもすすんじゃって、さぞかし楽しい夜になるんだろうな…と妄想した結果、アトリエうかいの(フルセック・サレ)を買いに来た。
このクッキーには何種類ものスパイスやハーブ、トマトやポテトなどの野菜が生地に練りこまれていて、お酒に良く合いそう。
ただ、こんなことを考えている一方で私はお酒があまり得意ではない。
お酒は飲めないくせにこういうお酒との相性も良いスパイシーなものが結構好き。
つまり甘いものが苦手な人や私みたいなタイプの人にも喜ばれるクッキーなわけ。

案の定お酒に比例して、クッキーに伸びる手もお喋りな口も止まらない。
他愛もない会話が何時間も話していられるあたりが学生時代と何も変わってはいないんだけど、でも、このクッキーを噛んだ今夜は、いつもより少し上品な夜を過ごした気がした。



pm.15:30

手みやげ日記

TEMIYAGE DIARY



早坂 マイ nu PRESS assistant

手土産は人と人をつなぐ最強ツールだと考える私が、シーンに合わせたとおきをご紹介します。



「お酒とともに楽しむワイン、ガトーショボンをお菓子で表現したい」という思いから誕生した「フルセック・サレ」宝石箱のような心を贈らせる缶のバックルにも嬉しい。

■フルセック・サレ缶(250円税別)



http://www.ukai.co.jp/atelier/

#01

TEMIYAGE DIARY



マネしたくなるリノベ空間を配信中！

nuリノベーション公式Instagramでは、こだわりのリノベーション空間を毎日発信中！
約600件を超える施工事例の中から、リノベ空間と合わせたインテリアや注目ポイントなど
お家づくりの参考になりそうなデザインソースをお届けします。
個性溢れるデザインの中から、お気に入りのリノベ空間を見つけてみませんか！？

「nu_renovation」で検索



EVENT

毎週末開催

「わたしたちでもリノベーションって出来るの!？」まずは個別無料相談会へご参加ください。

リノベーションって何？リノベーションってどんなコトまでできるの？自分もリノベーションしてみたいけど
何から始めたら？費用はいくら用意すればいいの？？リノベーションに関するご質問、ご相談など何でも結構です。
リノベーションの知識に特化したプロのアドバイザーがお客様の様々なお悩みに無料でお答えします。
SINGLE、DINKS、FAMILY、それぞれのライフスタイルに合わせて今だけでなく
将来のプランまで見据えたご提案をさせていただきます。
nuリノベーションで、“自分らしい”暮らしを一緒に作りませんか？



場所：東京都渋谷区広尾 1-7-20 DOT nuリノベーションオフィス
交通：JR／東京メトロ日比谷線「恵比寿」駅西口 徒歩7分
東京メトロ日比谷線「広尾」駅2番出口 徒歩9分

PUBLISHING



2018.3.14
扶桑社
relife+
vol.28
WIC、玄関土間、パントリー、
パントリーで
収納問題を
スパッと解決！ 特集



2018.3.10
三栄書房
GO OUT
Livin' VOL.11
「好きなこと」と、
部屋。特集



2018.2.28
リクルート
ホールディングス
**中古を買って
リノベーション**
2018 SPRING
& SUMMER
表紙、巻頭グラビア



2018.2.10
宝島社
MonoMax
170号
お悩み解決！理想の
暮らしを手に入れる！
リノベーション
ファイル 特集

MEMBERS PREMIUM

nu MEMBERS 会員限定の特典をご用意しております。

nuでは「nu MEMBERS」を募集しております。会員として登録（登録料・
年会費無料）頂くと様々な特典をご用意しております。イベント情報や未公
開物件の最新情報をいち早くメールマガジンでお届け、更にイベント優先
予約や設計料の割引等、これからリノベーションをお考えへの方へ向けた
特典が多数ございます。ご興味のある方は是非チェックしてみてください！

<http://n-u.jp/contact/>

nu MEMBERS 会員限定特典

1. 個別相談会へ無料参加！
2. リノベ設計料が2～5％に!!※
3. リノベ完成物件見学会へご案内！
4. セミナー等のイベント情報を先行配信、優先的にご案内！
5. nu発行のライフスタイル誌「UNIQUES」プレゼント！

※非会員様は工事費の10％になります。

登録料
年会費
無料



やっています！

友達に追加すると
リノベーションの
お得情報やイベント
情報などを配信します！



リノベーション東京スタンダード®

東京に住む一人一人の価値感と想いを、リノベーションでカタチにし、
多くの笑顔を創造したい。古い家でも、リノベーションで安心して快適
に暮らせる、という考えを広めることはもちろん、東京に住む人の数
ほどある価値感と想いを、リノベーションという手法を使ってカタチに
する。そして東京を中心に、中古マンションを買ってリノベーションする
ということを、住宅取得の新たな選択肢として確立していく。
それがnuの考える「リノベーション東京スタンダード」。

COMPANY PROFILE

NEWUNIQUES Inc.
DOT OFFICE, 1-7-20 HIROO,
SHIBUYA-KU TOKYO
Tel: (0120)-453-553 Mail: info@n-u.jp

NEWUNIQUES web site <http://newuniques.com/>
nu by renovation web site <http://n-u.jp/>



STAFF

Publisher	Eiji Usuda	Design	Kouhei Ishibashi
Director	Ai Yamashita	Editor	Mai Hayasaka
Photograph	Rumi Ueda		

nu by renovation®
New things are eventually getting old...
Renovation can give used things new value.


かえる。くらし。すまい。
リノベーション住宅推進協議会

本誌に記載されている商品の仕様及び価格は、予告なく変更する場合があります。又、印刷の都合上、実際の色と異なる場合があります。予めご了承ください。
Published by nu renovation all right reserved. No part of this paper may be reproduced without written by the author.